

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】令和6年6月21日(2024.6.21)

【国際公開番号】WO2023/085401

【出願番号】特願2023-559926(P2023-559926)

【国際特許分類】

F 2 8 D 15/04(2006.01)

F 2 8 D 15/02(2006.01)

【F I】

F 2 8 D 15/04 B

F 2 8 D 15/02 1 0 2 A

F 2 8 D 15/02 1 0 1 H

F 2 8 D 15/02 L

10

【手続補正書】

【提出日】令和6年4月11日(2024.4.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

作動流体が封入されるペーパーチャンバであって、

第1本体面と、前記第1本体面とは反対側に設けられた第2本体面と、前記第1本体面に設けられた第1本体凹部と、前記第2本体面に設けられた第2本体凹部と、を含む本体シートと、

前記第1本体面側に積層される第1シートと、

前記第2本体面側に積層される第2シートと、

30

前記本体シート、前記第1シートおよび前記第2シートが屈曲した屈曲部と、

を備え、

前記第1本体凹部は、前記第1本体面に開口した第1開口部と、前記第1開口部よりも前記第2本体面に近い位置に設けられた内側部と、を含み、

前記第2本体凹部は、前記第2本体面に開口した第2開口部を含み、

前記第1本体凹部および前記第2本体凹部は、少なくとも前記屈曲部に設けられ、

前記第1本体凹部および前記第2本体凹部は、前記内側部で接続されて互いに連通し、

前記屈曲部における断面視で、前記第1本体凹部は、前記第1開口部から前記内側部に向かうにつれて幅が大きくなるように形成され、前記第2本体凹部は、前記第2開口部から前記内側部に向かうにつれて幅が大きくなるように形成されている、

40

ペーパーチャンバ。

【請求項2】

前記第1本体面に毛細管構造が設けられ、

前記第2開口部の幅が、前記第1開口部の幅よりも大きい、

請求項1に記載のペーパーチャンバ。

【請求項3】

前記第2開口部の幅が、前記第1開口部の幅よりも小さい、

請求項1に記載のペーパーチャンバ。

【請求項4】

前記屈曲部における断面視で、前記第1開口部と前記第2開口部とが互いにずれている、

50

請求項 1 に記載のペーパーチャンバ。

【請求項 5】

前記第 1 本体凹部は、前記屈曲部とは異なる位置にも設けられ、
前記屈曲部とは異なる位置における断面視で、前記第 1 本体凹部は、前記第 1 開口部から前記内側部に向かうにつれて幅が大きくなるように形成され、前記第 2 本体凹部は、前記第 2 開口部から前記内側部に向かうにつれて幅が小さくなるように形成されている、
請求項 1 に記載のペーパーチャンバ。

【請求項 6】

前記第 1 本体凹部は、前記屈曲部とは異なる位置にも設けられ、
前記屈曲部とは異なる位置における断面視で、前記第 1 本体凹部は、前記第 1 開口部から前記内側部に向かうにつれて幅が小さくなるように形成され、前記第 2 本体凹部は、前記第 2 開口部から前記内側部に向かうにつれて幅が小さくなるように形成されている、
請求項 1 に記載のペーパーチャンバ。

10

【請求項 7】

デバイスと、
前記デバイスと熱的に接触した、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のペーパーチャンバと、
を備えた、電子機器。

【請求項 8】

作動流体が封入されるペーパーチャンバ用の本体シートであって、

20

第 1 本体面と、

前記第 1 本体面とは反対側に設けられた第 2 本体面と、

前記第 1 本体面に設けられた第 1 本体凹部と、

前記第 2 本体面に設けられた第 2 本体凹部と、

を備え、

前記第 1 本体凹部は、前記第 1 本体面に開口した第 1 開口部と、前記第 1 開口部よりも前記第 2 本体面に近い位置に設けられた内側部と、を含み、

前記第 2 本体凹部は、前記第 2 本体面に開口した第 2 開口部を含み、

前記第 1 本体凹部および前記第 2 本体凹部は、前記内側部で接続されて互いに連通し、

断面視で、前記第 1 本体凹部は、前記第 1 開口部から前記内側部に向かうにつれて幅が大きくなるように形成され、前記第 2 本体凹部は、前記第 2 開口部から前記内側部に向かうにつれて幅が大きくなるように形成されている、

30

ペーパーチャンバ用の本体シート。

【請求項 9】

前記第 1 本体面に毛細管構造が設けられ、

前記第 2 開口部の幅が、前記第 1 開口部の幅よりも大きい、

請求項 8 に記載のペーパーチャンバ用の本体シート。

【請求項 10】

前記第 2 開口部の幅が、前記第 1 開口部の幅よりも小さい、

請求項 8 に記載のペーパーチャンバ用の本体シート。

40

【請求項 11】

断面視で、前記第 1 開口部と前記第 2 開口部とが互いにずれている、

請求項 8 に記載のペーパーチャンバ用の本体シート。

【請求項 12】

請求項 8 ~ 11 のいずれか一項に記載のペーパーチャンバ用の本体シートと、

前記第 1 本体面側に積層される第 1 シートと、

前記第 2 本体面側に積層される第 2 シートと、

を備えた、ペーパーチャンバ。

【請求項 13】

デバイスと、

50

前記デバイスと熱的に接触した、請求項 1 2 に記載のペーパーチャンバと、
を備えた、電子機器。

【請求項 1 4】

作動流体が封入されるペーパーチャンバ用の本体シートであって、
第 1 本体面と、

前記第 1 本体面とは反対側に設けられた第 2 本体面と、

前記第 1 本体面に設けられた第 1 本体凹部と、

を備え、

前記第 1 本体凹部は、前記第 1 本体面に開口した第 1 開口部と、前記第 1 開口部よりも前
記第 2 本体面に近い位置に設けられた内側部と、前記内側部よりも前記第 2 本体面に近い
位置に設けられた底部と、を含み、

10

断面視で、前記第 1 本体凹部は、前記第 1 開口部から前記内側部に向かうにつれて幅が大
きくなるように形成されている、
ペーパーチャンバ用の本体シート。

【請求項 1 5】

断面視で、前記第 1 本体凹部は、前記内側部から前記底部に向かうにつれて幅が小さくな
るように形成されている、

請求項 1 4 に記載のペーパーチャンバ用の本体シート。

【請求項 1 6】

請求項 1 4 または 1 5 に記載のペーパーチャンバ用の本体シートと、

20

前記第 1 本体面側に積層される第 1 シートと、を備える、

ペーパーチャンバ。

【請求項 1 7】

デバイスと、

前記デバイスと熱的に接触した、請求項 1 6 に記載のペーパーチャンバと、
を備える、電子機器。

30

40

50